



昭和37年(1962)～



昭和54年 インターハイ 52kg級トータル200kg優勝
 昭和54年 宮崎国体 52kg級トータル197.5kg優勝
 昭和54年 前橋市民スポーツ祭 スナッチ98kgで日本高校新記録を樹立
 昭和57年 第8回ジュニア世界選手権大会(ブラジル・サンパウロ)8位
 昭和63年 第41回世界選手権大会(チェコ・オストラバ)4位
 昭和63年 全日本選手権大会で3連覇を飾る
 昭和63年 ソウル五輪出場 <56kg級14位>
 平成1年 世界選手権大会 <ギリシャ・アテネ>10位
 平成3年 アジア選手権大会 <茨城県>3位



群馬のスポーツ人 ⑱

ウェイトリフティング
 全日本選手権3連覇とソウル五輪出場

原 徹



前橋育英高校へ進学し、昭和54年高校3年生の時、インターハイ52kg級トータル200kg優勝、宮崎国体52kg級トータル197.5kg優勝と、インターハイと国体制覇という本県初の快挙を成し遂げた。その後、前橋市民スポーツ祭52kg級スナッチ98kgで、腰が圧迫骨折をしていたにもかかわらず、見事日本高校生新記録を樹立。日本体育大学を卒業し、母校である前橋育英高校で現在は体育教諭として活躍。ソウル五輪選手としての切符を手に入れたが、右太股の肉離れにより、結果は56kg級14位に。その後、世界選手権大会やアジア選手権大会で活躍。現在でも現役生活を送る一方、世界に通用する選手の育成に全力を注いでいる。

